

第1回周南市合流式下水道緊急改善事業
事後評価アドバイザー会議 議事録

日 時：平成27年11月10日（火）13時30分～14時30分

会 場：周南市上下水道局庁舎3階会議室

出席者：委員6名

（佐賀委員、前田委員、小林委員、橋本委員、磯村委員、大石委員）

オブザーバー3名（環境政策課1名、下水道施設課2名）

事務局7名

欠席者：なし

傍聴人：なし

1. 周南市上下水道局次長あいさつ

2. 委員、オブザーバー、事務局の紹介

3. 会長、副会長選出

会長に佐賀委員、副会長に前田委員で決定。

4. 議事

1) 合流改善計画の必要性

2) 合流改善計画策定の流れ

3) 周南市における合流改善計画

4) 事後評価

（事務局が資料をもとに説明。）

委 員：合流式の問題点の説明があり、事後評価のための具体的なデータは次回ということ。

委 員：職場の近くの川が、大雨が降ると濁流がすごくて、そのあときれいになるが、未処理放流の対象河川ではなかった。

委 員：未処理放流によるトイレトペーパーが流れなくなるなど、スクリーンの効果は？

事務局：あります。

委 員：雨水分流化について、評価指標のひとつの総降雨量10～30mm時以上降った場合の効果もあるのではないか。全体の内で、どれだけなのかなど示せるのでないか。

委 員：貯留管は整備済みなのか？

事務局：貯留管整備は、長期対策事業であるため、今回の緊急改善事業には該当せず、整備はまだです。

委員：有楽町や、徳山駅前が、大雨でオーバーフローして浸水していたが、改善のため整備された事業と、合流改善事業との関連は？

事務局：浸水対策として実施しており、今回の緊急改善事業には含まれておりません。駅前は、55mm 雨量対応で整備しており、整備後 55mm 相当の雨は降っていないが、浸水は起きていないのが現状です。

委員：事後評価は、次回会議でとなるが、ざっと達成の見込みは？

事務局：事業の進捗を精査中で、進捗度合によると思われる。

委員：スクリーンについて、東京の方で高性能なスクリーンを設置している話を聞いたが、緊急改善事業ののちの対策は。

事務局：スクリーンについては、清掃で機能回復を図っています。現在下水道関連では、設置後 50 年近く経過した、老朽管の改築・更新や、徳山中央浄化センターの改築、また浸水対策や事業継続性（BCP）を高める事業が、重要になっています。それに比べると、合流改善事業は、性能向上のための事業であり、現状予算を重点的に充てていくのは難しい状況である。対策としても、下水道のみでは限界を感じており、雨水が合流管へ入る量を減らしていく、歩道透水性舗装、宅地浸透枳なども考えなければならぬと感じている。

5. その他

次回会議を平成 28 年 1 月に予定。